

アート・オン・スクリーン

『私は、クロード・モネ』

I, Claude Monet

2018年10月26日(金)

国立西洋美術館 講堂 (企画展示館地下2階)

- ① 15:00 ~ (開場 14:30)
 - ② 19:00 ~ (開場 18:30)
- ◎日本語字幕 90分

各回定員 130人

※ 当日、各回の開演1時間前より本館1階東口付近にて整理券を配付いたします。
場所が不明な場合は、インフォメーションでお尋ねください。おひとり1枚まで。

「ルーベンス展—バロックの誕生」の
チケットが必要です。(半券も可)*

*過去にご観覧された半券でもイベントの参加は可能ですが、「ルーベンス展—バロックの誕生」の展示室へは再入場いただけません。

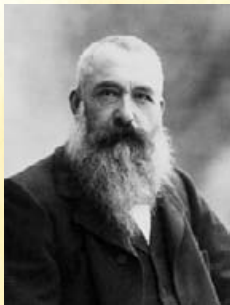
今年7月に当館で開催した上映会でも好評をいただいた「アート・オン・スクリーン」シリーズより、『私は、クロード・モネ』の上映が決まりました。すでにヨーロッパ各国で19作が公開されているこのシリーズは、多くの資料や専門家への丁寧な取材をもとに芸術家の人間性や作品の誕生秘話に迫ります。作品の精細な部分までを映しだし、普段、間近で作品を目にしている学芸員をもってしても「初めて気づいたことがあった」と高い評価を得ています。

当館には多くのクロード・モネの作品を展示しています。劇中ではモネが描いた土地にもカメラが向かいます。モネも見たであろう風景に思いを馳せながら、展示と合わせてお楽しみください。

【作品介绍：アート・オン・スクリーン『私は、クロード・モネ』】

世界でもっとも人気がある芸術家であることは疑う余地がないモネ。彼が残した2500通を超える手紙や彼自身の言葉を通して、今まで知られていなかったモネの一面に迫る。モネは印象派を生み出す傑作を描いた画家であると同時に19世紀~20世紀初頭の画家たちにもっとも影響を与えた画家の一人だ。本作は西洋美術史上最も愛されたモネが活躍した時代の背景を、象徴的に新鮮かつ繊細に描き出す。

2500通を超える
手紙から紐解く
モネの生涯



©Claude_Monet_1899_Nadar_crop



©Claude Monet, The Japanese Footbridge, 1899 National Gallery of Art



©Musee Marmottan



©Claude Monet, The Houses of Parliament, Sunset, 1903 National Gallery of Art

アート・オン・スクリーン
ARTONSCREEN

「アート・オン・スクリーン」は誰もが知る歴史的な美術品を、単に映像で捉えたドキュメンタリーではなく、それらを創り出したアーティストに焦点を当て、90分の映像の中で、未来に語り継がれる芸術を生み出すに至ったアーティストそれぞれの抱える境遇や創作動機を紐解き、彼らの人生を感じ、人間が有する可能性を語る映像エンターテインメントだ。2018年ラインナップは、ミケランジェロ、モネ、ゴッホという誰もが知るアーティストを取り上げつつも、意外と知られていない部分にフォーカスすることで、彼らの想像の源を探求する見応えのある作品だ。美術展で美術を鑑賞して楽しむのとはまた違った美術の楽しみ方を、「アート・オン・スクリーン」で体験ください。

artonscreen.jp

※やむを得ない事情により、内容を変更または中止する場合がございますので予めご了承ください。